

2020 年度酪農乳業産業基盤強化特別対策事業の実績について（メモ）

2021 年 5 月
一般社団法人 J ミルク

1. 酪農生産基盤強化総合対策事業

2020 年度酪農生産基盤強化総合対策事業については、112 団体から申請があり、助成金額の合計は 211,476 千円（北海道 89,984 千円、都府県 118,433 千円、その他（全酪連等）3,060 千円）となった。コロナ禍のなか、5 か年事業の初年度であり、新たなメニューである「担い手育成対策」などへの積極的な申請が目立った。

また、2020 年度に初めて申請のあった団体も複数あり、特に「都府県自家生産農家支援」については、支援対象となる全ての都県より申請があった。

(1) 生乳生産基盤強化支援事業

酪農生産者が、酪農生産基盤の回復・強化を図るために実施する取り組みに対して助成。

① 生産基盤の改善・指導

指導者向け研修会の開催やコンサルタントによる経営指導、乳質改善のための現地指導等、5 団体に対して 1,879 千円を助成した。

② 乳用牛地域育成支援対策の推進

「乳用牛育成基盤事業」は、都府県、設備新設・増強の場合に単価を加算する等の助成単価・要件等を一部見直したが、北海道で約 4,900 頭、都府県で約 300 頭の育成牛増頭が図られた（月毎の助成対象頭数(延べ頭数)を 12 か月で除して算出）。

「都府県自家生産支援」は自家生産率 100%の農家 1,376 戸に対して 1 戸あたり 75 千円、計 103,200 千円を助成した。

(2) 酪農持続可能性向上支援事業

酪農生産者が、わが国酪農の持続可能性の向上を図るために実施する取組に対して助成。

① 担い手育成対策

「新規就農・就業のための研修支援」は 32 名（北海道 22 名、都府県 10 名）、「酪農家受入支援」は 30 牧場（北海道 10 牧場、都府県 20 牧場）に対し支援。

「酪農経営の人材確保を図る求人イベント等への出展・開催」はコロナ禍により実施が困難な状況であったが、2 団体に計 561 千円を助成した。

② 酪農生産への理解醸成活動

コロナ禍で活動に制限がかかるなか、乳牛とのふれあい体験や量販店での PR 活動、出前教室用資材作成等について、4 団体に計 1,042 千円を助成した。

③ わが国酪農の持続可能性の向上等を図る独自の取り組み

酪農業への新規就農者確保のための「農業高校生に対する酪農への意識調査」が事業審査会で採択され現在実施中で 2021 年度に事業完了の見込み。

【2020年度の酪農生産基盤強化総合対策事業の助成内容】

(単位:千円、戸、頭等)

地域等	1 生乳生産基盤強化支援事業						2 酪農持続可能性向上支援事業						助成金計		
	(1)生産基盤の改善・指導		(2)乳用牛育成基盤強化				(1)担い手育成対策				(2)理解醸成活動				
			ア 乳用牛育成基盤強化		イ 都府県自家生産支援		ア 新規就農等研修支援		イ 酪農家受入支援					ウ 求人イベント出展等	
助成金	団体数	助成金	頭数	助成金	戸数	助成金	人数	助成金	牧場数	助成金	団体数	助成金	団体数		
ホクレン	0	0	81,738	58,432	-	-	6,600	22	1,146	10	0	0	500	1	89,984
東北	0	0	344	172	30,600	408	0	0	0	0	0	0	33	1	30,977
関東	1,129	1	3,042	1,014	33,225	443	1,200	4	405	2	0	0	0	0	39,001
北陸	0	0	18	9	1,800	24	600	2	210	2	0	0	0	0	2,628
東海	0	0	526	263	7,650	102	300	1	948	9	0	0	0	0	9,424
中国	587	1	2,162	745	7,275	97	0	0	402	6	0	0	10	1	10,436
四国	0	0	114	57	4,275	57	0	0	0	0	0	0	500	1	4,889
九州	102	2	1,632	586	18,375	245	900	3	69	1	0	0	0	0	21,078
その他	60	1	2,439	813	0	0	0	0	0	0	561	2	0	0	3,060
合計	1,879	5	92,015	62,091	103,200	1,376	9,600	32	3,180	30	561	2	1,042	4	211,476

※12か月延べ

《新規就農等研修支援事業 活用者からのコメント》

北海道・新規就農者

壁にぶつかることもあるが、それ以上にやりがいや喜びを感じる事が多く、就農して良かった。今後は一層の知識習得を目指して繁殖に力を入れ、規模拡大を目指したい。

北海道・新規就農予定者

知識習得やスキル向上とともに、「牛も人も健康」に重点を置いた無理のない経営を構築していきたい。

北海道・酪農従事予定者

酪農ヘルパーを目指しており、技術の習得と地域の信頼を得ていきたい。

都府県・新規就農者（第三者継承）

経営が安定した後は、自らの経験を活かして就農希望者を受け入れ、勉強の場を提供していきたい。

都府県・酪農後継者

実家とは違う酪農作業のやり方を勉強したことで新たな技術や知識が身につき、将来の礎となった。

2. 牛乳乳製品高付加価値化事業

2020年度牛乳乳製品高付加価値化事業については、「技術・人材開発研修等」として研修会の開催費や参加費助成など、3団体に対し計596千円を支援。さらに、1団体から「地域連携商品開発等」で2か年事業の申請があり、現在実施中。

拠出いただいた乳業者をはじめ、ご協力いただいた皆様には深くお礼を申し上げます。酪農乳業の持続可能性の更なる強化に向け、2021年度事業では「酪農後継者・新規就農者等への早期経営参画支援」などの新規メニューを準備しています。引き続き、事業へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

